

## 自然休養林情報

### 苔の橋竣工式と山開きの開催

4月20日、ヤクスギランドにおいて、平成10年度事業で新たに架け替えた「苔の橋」の竣工式が、ヤクスギランドを美しくする会の主催により、九州森林管理局森林整備部長ほか関係者32名の出席のもと厳粛に執り行われました。



その後ヤクスギランドを美しくする会会長ほか四名によりテープカットされ、全員で渡り初めを行い橋の完成を祝いました。この橋は、名称のとおり苔に覆われた周囲の自然景観と調和した栈橋タイプの歩き易い木橋ですので、ぜひ一度渡ってみてください。

また、引き続き、屋久島観光協会主催による山開きが行われ、今年の登山者の安全を祈願しました。

当日は、前日からの曇り空の天気も回復し、さわやかな春の日差しのもと、参加者は林内の散策をして心地よい汗をかき森林浴を満喫しました。

## 縄文スギの樹勢回復 措置経過観察

森林環境保全センター平成十一年度業務予定

保全センターにおいて、①関係機関との連絡・調整を図りながら、屋久島国有林の厳正な保全管理を推進し、森林教育・普及活動の実施②屋久島の森林環境についての学術研究活動の拠点として、関係研究機関等との連携のもとに調査研究、情報提供③世界自然遺産地域については、入り込み者の増加による生態系への影響を防ぐため、世界自然遺産保全緊急対策を実施していく予定です。

今年度の保全センター事業

措置を実施する予定です。

は、世界自然遺産地域等への入り込み者による森林生態系に与えるモニタリング調査や縄文スギ展望デッキ周辺の植生回復措置等を実施します。

特に、縄文スギについては平成十年度試験的に実施したモデル地区の経過の観察結果に基づき、今年度も樹勢回復

に基き、今年度も樹勢回復

措置を実施する予定です。また、屋久島の貴重な植物であるヤククサネゴヨウ・ヤクシマシヤクナゲの保護増殖や著名ヤクスギの遺伝資源保存事業は、関係機関と共同で継続して実施します。

さらに、森林の持つ公益的機能の高度発揮のための復旧

治山・森林整備に努めると共

に、自然休養林の適正利用のための施設整備を実施します。この他、世界自然遺産地域を中心とした森林パトロールの実施等、自然環境の保全活動や、本誌等を通じて自然環境保全全般の情報発信・提供を実施していきます。

### 屋久島の保全活動は 登山者へのマナー啓発から

屋久島山岳部利用対策協議会開催

平成十一年度第一回協議会が四月十二日屋久島離島開発総合センターで開催されました。



平成十一年度事業計画では新しくリーフレットが作成されたこととG・w期ピーク時の荒川登

### 「洋上アルプス」調査研究に活かされる

四月二十六日、保全センターと屋久島管理官事務所との共催で、世界遺産等の保全に係る地元関係機関や有識者の参加のもと、第三回屋久島・世界遺産等調査研究推進地域連絡会議が屋久島世界遺産センターで開催されました。会議では、平成十年度の取り組み状況や今後の活動計画の概要等が報告されました。今後は、森林生態に係る植

### 屋久島の植物



シャリンバイ (ばら科)

山口での指導に各交通機関が参加することとなりました。屋久島森林管理署では、荒川林道終点・楠川三叉路については、木材搬出施設であり、正規の登山道ではないので、問題の早期解決に向けて屋久町と引き続き協議していることを説明し、理解と協力を要請しました。

この他、仮設トイレの設置登山道整備、乗り入れ規制等の昨年からの検討事項について

### お知らせ

#### 無名スギに多数の応募

「洋上アルプス」四五号で白谷雲水峡の無名スギの名前を募集したところ、沢山のご応募をいただきました(一四七人、二三九件)ありがとうございました。とうございました。

#### 人の動き



五月一日付け転入  
所員 石崎 宣彦  
(九州森林管理局)

# 屋久島森林環境保全センター 平成11年度 業務予定

## ◆ 森林生態系保護

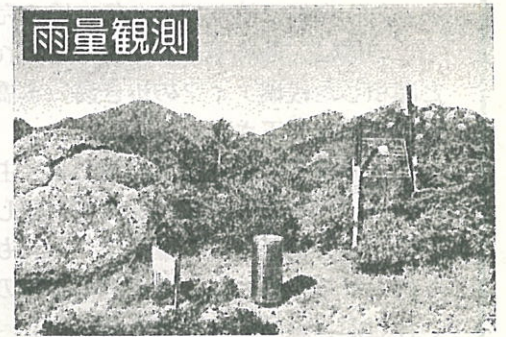
### ◎ 世界自然遺産保全緊急対策（平成8年度～）

- 1 生態系モニタリング調査：入込み状況調査，生態系の変化に関する調査（植生，水質等）
- 2 民間協力推進：屋久島山岳ボランティア連絡会議等
- 3 植生回復措置：縄文スギ展望デッキ周辺の土砂流出防止措置等
- 4 ヤクスギ樹勢回復措置：縄文スギ樹勢回復措置



### ◎ モニタリングの実施

- 1 森林植生のモニタリングプロットの実施  
平成7年度から5ヶ年で森林気候帯ごとの大プロット及び代表的な林相の小プロットを設置予定。本年度も小プロットについて設定する。
- 2 雨量等の観測  
保全センターで設置した雨量計7箇所を継続して観測する。
- 3 水質調査  
(1)雨量計設置箇所等の林外雨と主要溪流及び高層湿原の溪流水（計12箇所）の採取（毎月）と森林総合研究所九州支所による分析（継続）  
(2)森林総合研究所四国支所の国有林を利用した水質調査への協力  
9年度から3年間，毎月5箇所の溪流水を採取し分析結果を得る。
- 4 写真映像によるモニタリングの実施（一部は環境庁・森林総研九州支所と共同）



### ◎ ヤクタネゴヨウの保護増殖

林木育種センター九州育種場と共同で保護増殖事業推進のための調査・研究へ協力する。

### ◎ ヤクシマシャクナゲの保護増殖

屋久島環境文化財団と共同で6年計画（平成7～）のもとシャクナゲ生産及び保護増殖に必要な育苗技術を開発する。

### ◎ 著名ヤクスギの遺伝資源保存事業

林木育種センター九州育種場と共同実施（平成7・8年度に15個体採穂完了）。現在育種センターで保存・増殖事業とその後の屋久島での保存事業を推進する。

## ◆ 治山事業

### ◎ 復旧治山

コンクリート谷止工の実施：災害 6基（前年度からの明許繰越）  
：経常 2基

### ◎ 保安林整備事業

除伐 10ha（前年度からの明許繰越）



## ◆ 森林教育・森林空間利用等

### ◎ 森林教室等の実施

- ◎ 森林環境整備推進協力金による屋久島自然休養林の整備等
- ◎ 広報「洋上アルプス」の発行及び年報（平成10年度）の作成
- ◎ 山岳部利用対策協議会への参加と関係機関との連携強化
- ◎ 資料室の整備・拡充
- ◎ 世界遺産地域等の森林パトロールの実施

